

伊達市議会だより

vol. 83

議会広聴広報常任委員会
2026.8.27

Contents

第4回定例会議(6月)審議議案	P2~3
一般質問	P4~10
みなさんからの請願、第3回(5月)招集会議	P11
全国市議会議長会表彰	P12
政務活動費報告	P13
視察受け入れ	P14
議会中継YouTubeへの移行	P15
議会傍聴案内	P16

伊達市議会
ホームページ

<http://www.city.fukushima-date.lg.jp/site/gikai/>



「ほっとだて」ロゴデザイン 伊達高校美術部

祝 伊達市合併20周年記念式典



アトラクション (合唱の披露)
大島花子さんと桃陵中学校生徒のみなさん

第4回定例会議(6月)審議議案等と審議結果

会議期間20日間 6月4日～6月23日

【議案10件：人事1件、条例の一部改正4件、条例廃止1件、補正予算3件、その他1件】

【委員会提出議案2件】【請願2件・陳情1件】(請願・陳情は11ページに記載)

※審議議案等は伊達市議会ホームページに掲載していますのでご覧ください。



議案番号	件名	議決結果
議案第53号	伊達市梁川財産区管理会委員の選任につき議会の同意を求めることについて	原案同意
議案第54号	伊達市税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第55号	伊達市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第56号	伊達市手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第57号	伊達市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第58号	伊達市新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金条例を廃止する条例について	原案可決
議案第59号	令和8年度伊達市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第60号	令和8年度伊達市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第61号	伊達市道路線の廃止について	原案可決
議案第62号	令和8年度伊達市一般会計補正予算(第2号)	原案可決
委員会提出議案2件		
発委第2号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	原案可決
発委第3号	「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書の提出について	原案可決

●総括質疑 議員名と質疑項目

1 近藤 眞一 議案第57号

○伊達市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
・今年度、国民健康保険税が引下げになる理由について等
・所得、世帯構成等で前年度より引上げになることはないのか等

議案第59号

○令和8年度伊達市一般会計補正予算(第1号)

・全世代・全員活躍のまち事業(事業の委託先、首都圏等の若者・地元の子生はどのような構成を想定しているのか、どのような事業が実施される予定なのかについて等)

報告第2号

○市が資本金を出資している法人の経営状況を説明する書類の提出について
・令和3年度の事業報告以降、公有用地はなく議案調査では先行取得の予定もないとのことだが、福島地方土地開発公社の今後についてどのように考えていくのかについて等

Pick up 1

降ひょう被害に対し、支援策が決まりました！

5月13日に、伊達市梁川町栗野地区などに、ひょうが降り、桃を中心に大きな被害が出ました。被害面積は、27・25ha、被害額は、9,316万円でした。市議会として、5月26日に産業建設常任委員会で、現地視察を行い、要望書を取りまとめ、6月8日に市長に提出しました。定例会議の最終日に、追加提案がなされ、1,544万円の支援策が議決されました。

支援1 果樹降ひょう被害緊急特別支援事業（県費）

被害を受けた農家に対し、10aあたり26,000円を定額補助する。

支援2 農業災害対策事業（県1／3、市1／3）

今年度中の支援策

① 樹草勢回復用肥料購入事業 ② 病虫害防除事業

支援3 農業災害対策事業（市1／3）※市単独

次年度に向けての支援策 内容は、支援2の内容と同じ。

支援4 果樹共済への支援（掛金20%補助）※市単独

被災農家への支援策として、果樹共済の掛金を20%補助、認定農業者へは従来の15%に上乗せする。

支援5 その他 市単独追加支援事業※市単独

① 支援1～4の各メニューを支援 被害状況が追加となった農作物に対しての支援

② 融資に対する利子補給1%（初年度分のみ）被害農家の融資に対する支援

農産物の降ひょう被害等の対策についての要望

令和8年5月13日の降ひょうにより、伊達市の農作物に被害総金額93,162千円（5月20日現在）の大きな被害が発生しました。被害面積は、果樹で27・2ha（内訳は、モモ26・85ha、柿0・17ha、キウイフルーツ0・18ha）被害額で93,030千円の発表がありました。

最も大きな被害はモモで被害額92,443千円、柿で299千円、キウイフルーツで288千円、野菜では、被害面積0・05ha、被害額で132千円の発表がありました。

特に深刻な地域は梁川町前塚原地区で直径2cmほどの大粒の降ひょうにより実と葉に傷がつき出荷できない状況になっています。過去の気象災害を振り返ると、令和2年は「モモ」の穿孔細菌病の大発生、令和3年は4月中旬の凍霜害により「モモ」「柿」等に甚大な被害、令和4年は降ひょう害、令和7年には高温湯水、集中豪雨により「モモ」に被害を受け、令和8年は降ひょう害により打撃を受け農家の栽培意欲の低下と農業経営の安定を脅かす事態となっています。

栽培管理に取り組む農家を守り、生産意欲向上と営農継続を図る支援の「要望書」を次のとおり産業建設常任委員会でまとめ、議

1. 長から市長へ提出しました。被害を被った農家に対し、支援対策の方向性を示すこと。
2. 樹勢回復のための農薬、肥料、植え替えが必要となる苗等の改植費用等、追加経費について負担軽減を図ること。
3. 降ひょう被害を受けた傷害果の販売ルートや加工も含めた販路を確保すること。
4. 農業経営の安定を図るため、収入保険や共済制度の普及啓発と掛金の負担軽減の拡充をはかること。
5. 農業経営継続のため、経営安定資金対策として無利子融資制度適用の資金を国、県に要請すること。



要望書を市長へ提出する佐藤議長（左から3人目）

第4回定例会議(6月)

一般質問では13人の議員が登壇し、市政全般について論戦を展開しました。

問Q一般質問A答

一般質問議員と質問項目

■6月9日登壇

池田 英世

- 1.避難所指定学校体育館の酷暑対策
- 2.小中学校の部活や学校行事の移動方法

柳田 武志

- 1.小中学校の安全安心
- 2.昨年12月に開かれた臨時議会で可決された水道料金（基本料金）減免
- 3.熊対策
- 4.便利なまちづくり

大槻 孝徳

- 1.農作物の降ひょう被害支援対策
- 2.農業経営所得安定対策
- 3.有害鳥獣対策

佐久間 茉由美

- 1.子どもの居場所づくりと屋内遊び場整備
- 2.子どもたちが楽しみにする学校給食を目指して

佐藤 真也

- 1.農業の振興（5月13日の伊達地方の降ひょう被害への対策と支援）
- 2.梁川バイオマス発電所の問題
- 3.伊達市の歴史と文化のまちづくり（歴史まちづくり法）

■6月10日登壇

近藤 真一

- 1.農作物の降雪被害
- 2.学校給食の無償化
- 3.バイオマス発電所に関すること
- 4.熊被害に関すること
- 5.生活用水供給事業

渡邊 尚人

- 1.除草
- 2.除雪

大竹 重範

- 1.ふるさと再発見・旧伊達町の歴史文化遺産（幕末から近代の編纂資料と義民齋藤彦内閣連催事）への行政的支援
- 2.もうひとつの地域の安全安心・農村部における防犯カメラの設置
- 3.国がすすめる小中学校給食費無償化と「食育の充実」伊達市の学校給食の充実（学校給食を美味しく）
- 4.本年5月6日磐越自動車道発生部活遠征バス事故による「運行バス」の安全管理体制
- 5.公営企業会計「水道事業」について～市長引き継ぎ事項（水道料金引き下げ）と昔の63（ロクサン）協定とは何だったのか～

小嶋 寛己

- 1.市議会議員選挙と市長選挙の同時選挙
- 2.エアコンの購入・設置に関する補助等

■6月11日登壇

菅野 喜明

- 1.市内の小中学校・高校における部活動等での遠征時における交通手段

八巻 美智子

- 1.市民と行政と議会が共に進めるまちづくり
- 2.やながわ希望の森公園とさくら1号
- 3.中東情勢による原油価格上昇等に対する商工業者への伊達市の支援

河野 裕之

- 1.学校給食センター統合に伴う給食の現状と満足度向上に向けた調理・運用の改善
- 2.伊達市元気な子ども・みんなの子育て条例制定後の効果と現状認識、及び今後の目指すべき成果
- 3.財政

島 明美

- 1.飼い主のいない猫対策事業の2年間の総括と運用改善
- 2.市内介護現場の実態把握と、介護人材の確保・定着に向けた支援体制の構築

※第4回定例会議(6月)の録画映像は、議会だよりの紙面編集時点で作成中となっております。申し訳ありませんが、QRコードの掲載はございません。

避難所指定学校体育館の酷暑対策を問う

い。Q コンを設置する場
合、断熱材や遮熱材の併用
が必須だが、その理由と費
用についてお示しくださ
い。

Q 学校体育館にエ
アコンを設置する場
合、断熱材や遮熱材の併用
が必須だが、その理由と費
用についてお示しくださ
い。

A 令和7年度より普
通交付税に学校体育
施設等空調設備の項目が追
加されました。

Q エアコン導入後の
ランニングコストに
関して交付税措置はあるか
伺います。

A 令和7年度より普
通交付税に学校体育
施設等空調設備の項目が追
加されました。

Q エアコン導入後の
ランニングコストに
関して交付税措置はあるか
伺います。

A 令和7年度より普
通交付税に学校体育
施設等空調設備の項目が追
加されました。

Q 市内の標準的な中
学校と小学校体育館
の固定式エアコン設置の概
算をお示しください。

A 小学校体育館平均
の延べ床面積は、約
1,300㎡で1億300
0万円の見込みで、中学校
は約1,800㎡で1億8
000万円を見込んでいま
す。



池田 英世

Q 学校体育館にエ
アコンを設置する場
合、断熱材や遮熱材の併用
が必須だが、その理由と費
用についてお示しくださ
い。

A 令和7年度より普
通交付税に学校体育
施設等空調設備の項目が追
加されました。

Q エアコン導入後の
ランニングコストに
関して交付税措置はあるか
伺います。

A 令和7年度より普
通交付税に学校体育
施設等空調設備の項目が追
加されました。

Q エアコン導入後の
ランニングコストに
関して交付税措置はあるか
伺います。

A 令和7年度より普
通交付税に学校体育
施設等空調設備の項目が追
加されました。

Q 市内の標準的な中
学校と小学校体育館
の固定式エアコン設置の概
算をお示しください。

A 小学校体育館平均
の延べ床面積は、約
1,300㎡で1億300
0万円の見込みで、中学校
は約1,800㎡で1億8
000万円を見込んでいま
す。

Q 市内の標準的な中
学校と小学校体育館
の固定式エアコン設置の概
算をお示しください。

A 小学校体育館平均
の延べ床面積は、約
1,300㎡で1億300
0万円の見込みで、中学校
は約1,800㎡で1億8
000万円を見込んでいま
す。

Q 市内の標準的な中
学校と小学校体育館
の固定式エアコン設置の概
算をお示しください。

■便利なまちづくりについて



柳田 武志

Q イオンモール伊達と各所を結ぶバス路線について、どのような経路で1日上下何本のバスを計画しているか伺います。

A 伊達市地域公共交通計画において、JR東北本線伊達駅と阿武隈急行線保原駅を結ぶ（仮称）鉄道アクセス線を本年10月より運行を開始するよう現在準備を進めています。具体的な運行ルートは、JR伊達駅から聖光学院前を通り、イオンモール伊達、伊達総合支所、北福島医療センター、阿武隈急行高子駅、上保原駅、保原新工業団地、阿武隈急行保原駅、伊達市役所本庁舎を経由し、保原総合公園までを計画しています。運行便数は、上下線合計で20便の計画で、伊達市地域公共交

通活性化協議会の審議を経て、福島運輸支局へ運行許可申請を行う予定です。また、既存のバス5路線も同じくイオンモール伊達に乗り入れをするよう、現在調整を行っています。

Q （仮称）鉄道アクセス線はイオンモール伊達、伊達市役所本庁舎のどこにバス乗り場を作るのか伺います。

A イオンモール伊達は、現在事業者側と調整を行っています。建物1か所の入り口にバスプールを設けたいということでは現在調整を行っています。市役所本庁舎については、本庁舎中央棟の入り口脇のスペースをバス停にする形で、現在調整を行っています。

Q 鉄道を最大限生かすため、地域と鉄道駅を結ぶ交通網の構築が必要と考えますが、市の考えを伺います。

A 地域と鉄道を結ぶ交通網の構築は大変重要だと認識をしています。伊達駅、保原駅、梁川駅は、路線バスやデマンド交通を乗り入れ、接続を強化することで広域都市間移動と地域内交通が円滑となり、利用者の利便性が向上すると考えています。

■農作物の降ひょう被害支援対策を問う



大槻 孝徳

Q 5月13日に降ひょうによりモモ、カキ等の果樹や野菜に大きな被害が発生しました。

伊達市の基幹産業である農業を守り、営農継続、農業経営の安定を図るため早急に支援対策を講じるべきと考えますが、今回の伊達市の農作物被害状況について伺います。

A 被害作物はモモを中心に、被害面積が27・25ヘクタール、全損換算面積が46ヘクタール、被害金額が9,316万2千円となっています。樹勢回復のための追加費用と次年度生産するための肥料、農薬の支援について伺います。

A 市としては、被害を受けた農作物の収量及び品質の維持を図るため、追加肥料や必要な防除資材の共同購入と次年度生産体制の支援等、農家の皆さんが希望を持ってこ

れからも営農できるようにしっかりと取り組んでいきたいと考えています。

Q 降ひょう被害を受けた傷害果の販売ルートや加工を含めた販路確保について伺います。

A 県やJAをはじめ関係機関と連携し、被害果の有効活用及び販路確保に向けた支援対策を検討していきます。

Q ため、農業経営の安定を図るため、農業収入保険や果樹共済の普及啓発と掛金の負担軽減を図ることについて伺います。

A 市におきましては平成27年から果樹共済、令和2年から収入保険掛金の一部を補助しており、毎年約150人から200人に助成を行っています。今後につきましても加入を積極的に進出し、農家の負担軽減の取組を継続していきます。

Q 農業経営継続のための経営安定資金対策として、無利子融資制度適用の資金を国・県に要請することについて伺います。

A 被災農家が早期に経営基盤を回復できるように利子補給などの支援を県知事に対し要望を行っています。また、実現に向け、農林水産省をはじめとした関係機関への働きかけを行うことについても要請をしています。

■成長に応じた遊び場整備の推進を！



佐久間 栄由美

Q 近年の猛暑により子どもたちが屋外で安心して遊べる機会が減っています。小学校高学年の保護者からも「思い切り遊べる場所が少ない」という声があります。高学年までを対象とした屋内運動空間の整備が必要と考えますが、市の考えを伺います。

A 子どもが体を使って遊べる機会の確保は重要であり、屋内遊び場や児童館、体育館など既存施設を活用しながら、発達段階に応じた利用をいただければと考えています。

Q 高学年でも楽しめる大型屋内遊び場は、子どもの運動不足解消だけでなく、子育て世代の満足度向上や移住・定住にもつながると考えます。今後の整備について、市の考

えを伺います。

A 新たな施設整備ではなく、既存施設においてどのような遊び方ができるか創造性を働かせながら有効活用することが重要と考えています。また、利用者アンケートを継続し、利用者の声を踏まえながら既存施設の魅力向上に努めていきたいと考えています。

■笑顔につながる学校給食を

Q 給食センター統合後、旧伊達学校給食センター管内では量や献立について改善を求める声があります。子どもたちが毎日楽しみにできる給食とするため、これまで親しまれてきた献立や工夫を生かし、さらなる満足度向上を図るべきと考えますが、市の方針を伺います。

A 旧伊達学校給食センターで献立を担当していた栄養教諭のノウハウを生かし、献立や調理方法を検証するとともに、季節感や地域の食材を取り入れるなど可能な限り工夫を凝らした献立の提供に努めます。また、児童生徒や学校現場の声を反映し、給食の質と満足度の向上に取り組めます。

た栄養教諭のノウハウを生かし、献立や調理方法を検証するとともに、季節感や地域の食材を取り入れるなど可能な限り工夫を凝らした献立の提供に努めます。また、児童生徒や学校現場の声を反映し、給食の質と満足度の向上に取り組めます。

■梁川バイオマス発電、市長に問う



佐藤 真也

Q 焼却灰について、サイロからトラックに野積みされており、そのとき焼却灰が舞っています（写真）。まず、市は認識しているのか伺います。

A 舞い上がっている写真というものは確認をしております。実際にトラックに積み込む際に、我々も目視で確認し現地確認もしております。バンカーの周辺に焼却灰と思われる粉のようなものが飛んでいるというようなところは確認しています。

Q 教育長にも、焼却灰の飛散について、風下に認定こども園と小学校があります。問題がないのか伺います。

A 敷地外への焼却灰の飛散については確認されていないということです。現段階では保育

施設や小学校への影響はないものと考えていますが、引き続き関係部署と連携して注視します。



■5月13日の降ひょうの被害について

Q 今回の被害の特徴の一つは、梁川町栗野地区の一部が壊滅的とも言えるような被害を受けたことです。市の対応を伺います。

A 農業経営に深刻な影響を及ぼしております。これにより被災農家の経営継続が困難となることや、地域農業の安定的な維持が危ぶまれる状況となっています。支援策としては、次年度の生産向上を目的に、今後の補助メニューの検討を進めていきたいと考えています。



近藤 眞一

■降ひょう被害に手厚い支援策を

Q 5月に発生した降ひょう被害に遭われた方々の収入保険、農業共済保険等の加入状況をお示しください。

A 被災した市内の農家数は、約65件と想定しています。そのうち、収入保険加入農家数は20件、果樹共済加入農家数は11件、合計31件となっています。

Q 商品としての収穫が見込めなくても、収穫までは消毒、肥料等のコストがかかります。県は、畑の3割以上の被害で10アールにつき一律2万6千円の補助と報道されましたが、金額の上乗せや、改植に係る費用の補助等、市独自の支援策について見解をお示しください。

A 貸付金に対する利子補給や、次年度生

産のために使用する肥料及び、病害虫発生抑止等の通常防除薬剤の共同購入への支援等を考えています。県の支援内容も検討に入れて進めていきます。

■中学校給食費の全額無償化を

Q 現在、半額無償化されている中学校給食を、全額無償化した場合の金額をお示しください。

A 年間の給食実施日数を190日とした場合、全額無償化に必要な金額は8,892万9,485円となります。

Q 中学校給食費の全額無償化を早期に実施すべきと考えますが、見解をお示しください。

A 中学校の給食費無償化は、現時点で国の支援対象となる制度化の具体的な動きが確認されていない状況のため、市では引き続き、現行の物価高騰支援と半額支援を実施していきます。学校給食費の無償化については、国の政策により、全国的に地域格差のない制度で負担軽減措置が講じられるべきものと考えています。今後も市長会等を通じ、国へ要望を続けるとともに、制度拡大の動向を注視していききたいと考えています。

■除草問題が急増！市の対応を問う！



渡邊 尚人

Q 住宅街にある農地や家に隣接する農地の耕作放棄地が増加し、町内会では除草の問題が増えています。市の対応を伺います。

A 市では農地所有者や利用状況、周辺環境への影響を確認しています。除草が必要と判断された場合には、所有者に改善通知を送り、協力が得られない場合には再度通知し、更に働きかけを続けています。また、高齢化や遠方居住等の理由で所有者が除草を行うことが難しい場合には、委託業者を紹介する等、支援策を案内して問題の早期解消に努めています。

なっています。官地に対する除草の市の支援を伺います。

A 市道や水路、公園・緑地の美化・清掃活動を行う団体や個人を支援するため、「ふれあいサポートスタッフ制度」を設けており、活動に必要な資材を支給しています。団体登録は自治会や振興会も登録可能であり、草刈り機の燃料や替え刃、除草剤の支給も可能です。

■市の「除雪」業務について

Q 除雪が必要と思う路線が除雪路線図に入っていないケースや昨年廃業した建設業者があつたこと等を踏まえ、市の除雪体制を維持していくための見直しが必要と思うが市長の考えを伺います。

A 地域の実情や道路環境に応じて、除雪路線等の見直しを行うとともに、国・県の動向を注視しながら、事業の運用改善を検討していきます。





大竹 重範

■磐越自動車道バス事故から市の運行安全管理体制を問う

Q 本年5月6日、県

内の磐越自動車道において、高校生の部活動遠征バスの重大事故が発生しましたが、市内の学校関係及び公用マイクロバス等の安全管理体制について伺います。

A 部活動をはじめ、学校の教育活動でバス等を利用する場合、許可登録を受けているバス事業者と契約を行い、貸し切りバス、いわゆる青ナンバーで適切に利用しています。市のマイクロバスを利用する場合に派遣される運転者は、管理台帳によって適切に管理されており、安全管理上適切に運転者確保がされていると認識しています。

公用マイクロバスの運転者について

は、大型車の運転免許を保有し、公務等において運転経験がある者となっています。乗車者に対するシートベルト着用の啓発など、安全配慮義務の徹底を図っています。また、今後は運転者の健康状態等のチェックなど運行に係る安全管理体制の構築を図っていきたいと考えています。

今後さらに大切な命を守るための安全管理体制を充実させ、安心安全な車両運行を実施していきます。

■伊達市の水道料金の低減について問う

Q 他の市町村と比較して、伊達市の水道料金は

高いと言われていますが、水道料金の低減について改善の余地はないのか伺います。

A 人口の減少による給水

収入の減少、老朽化した施設や管路の更新費用が増大していることから、水道事業を取り巻く環境は一層厳しくなるものと認識しています。このような状況から、現在の水道料金を維持できるよう努めていきます。

■エアコンで夏を快適に



小嶋 寛己

Q 集会所のエアコン

設置に対して補助を行う他市の事例が見えます。本市も類似の取組に着手すべきと考えますが、市の見解を伺います。

A 伊達市集会所建設

要綱においては、集会所の建設費や屋根、壁、床等の主要構造部の修繕費用、トイレ洋式化等のバリアフリー工事及び災害復旧工事を補助対象としており、エアコン等の家電製品の購入費用は補助対象外としています。しかし、近年の夏の猛暑の状況から、集会所におけるエアコン設置の必要性も認識しているため、今後、町内会等のご意見を聞きながら、補助対象経費の拡充について検討していきます。

ます。

Q 高齢者エアコン購入設置補助金交付事業(以下、本事業)の利用促進を図るため

には、補助率及び上限額の大幅な引上げ等の改善が必要だと思いますが、市の見解を伺います。

A 本事業は、国の物価高

騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、エネルギー価格や物価高騰の影響を受けている低所得高齢者世帯に対する支援策であるとともに、高齢者の熱中症リスクの軽減も目的とした事業であることから、早期実現に向けて協議を重ね検討してきました。本事業の補助率及び補助上限等については、他自治体の事例を参考にしつつも、熱中症のハイリスク層である高齢者を支援することを優先に、受益者負担の考えを踏まえて決定しました。また、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用するにあたり、対象者や補助率、補助上限等の事業計画を本年1月に国に提出していることから、現時点(※6月10日時点)においては制度の変更は難しいと考えています。

■市内の学校における部活動等での交通手段を問う！



菅野 喜明

Q 市内の小中学校の部活動等での遠征時における交通手段の割合について伺います。

A 各小中学校の部活動顧問を対象に、現段階における部活動の対外試合、コンクール等へ移動する際の主な移動手段について、複数回答を可能として調査しました。「公共の交通機関を利用している」という割合が4%、「個別の自家用車」（各家庭での送迎）87%、「乗り合わせによる保護者自家用車による送迎」29%、「学校で手配する貸切りバス」40%、「保護者が手配する貸切りバス」2%でした。

されるのか伺います。

A 市としても国や県の通知を受けまして、独自のガイドライン等の作成を考えています。今までの経験から、事故にしても過去に様々なことが起きており、その都度各学校には通知はしています。ところが、しばらくすると抜けてしまう、やはり、そこが大きな問題だと思っています。

校長会で、確認して確認し過ぎることはない、さらに最悪を常に想定しなさいと指導しています。当たり前のことを当たり前にやっていたら、事故は起きないと考えています。

勤務した学校の経験から言えば、強くなるためには、遠くのほうに練習試合に行く場合があります。その際、まずは、保護者会を開いて、その中で共通理解を図ります。また、移動については、大型バス等を保護者会のほうで用意することもあります。それができずに、保護者の車に乗り合いする際には、必ず掛け捨ての保険をかけるように徹底しました。当たり前にやるべきことをしっかりとやるように、今後も校長会を通して各学校に通知していきます。

■市民と行政と議会が共に進めるまちづくり



八巻美智子

Q 市民参加・協働のまちづくりの観点から、誰もが関心を持ち参加しやすい環境づくりをどのように考え、また、市民や団体に伝えているかを伺います。

A 計画策定時に委員の市民公募やパブリックコメントを実施し、意見反映に努めています。事業や計画の周知は、市HPやSNS、毎月の広報紙を活用して広く発信しています。また、第3次総合計画における各種指標の進捗状況についても、市民の皆様へ周知するため、市HPにおいて公表を行っています。

■やながわ希望の森公園の再整備を問う

Q やながわ希望の森公園の再整備とミニ

SLさくら1号の故障について伺います。

A 施設によっては大分老朽化が進んでいる状況については十分認識をしており、現在進めている公園再整備計画の見直しの中で、優先順位を判断しながら計画的に再整備を進める考えです。さくら1号はボイラー内の故障により、現在運休としています。専門業者から復旧費用、作業期間等の詳細が示されましたら、その内容を精査して、早期復旧に向けて取組を進めていきます。

■原油価格上昇等に対する商工業者への支援を問う

Q 中東情勢による原油価格上昇等に対する商工業者への支援について伺います。

A 事業者の状況を確認し、持続可能な経営の実現に向けた支援が必要であると認識しています。市のホームページに中小企業支援の専門ページを設置し国や関係機関が提供する支援制度を一元化した上で掲載しています。

■学校給食の満足度向上への姿勢を問う



河野 裕之

Q 学校給食実施基準に基づき栄養計算された給食は、旧伊達学校給食センターと伊達中央給食センターで同じ基準で提供されていたが、給食センターの統合後、旧伊達学校給食センターの管轄地域からは新しい給食に関して量などについて改善を求める声が上がっています。旧伊達学校給食センターの「良さ」を段階的に導入して学校給食の更なる満足度向上を図ることが必要と考えますが、市の方針を伺います。

A 調理設備や器具に大差はないものの、食数の増加に伴う時間的制約が最大の相違点です。調理手法や工程の見直しは必要ですが、伊達学校給食センターの献立を担当してい

た栄養教諭も配属されているため、これまでのノウハウや味の傾向の継承は可能です。今後は、調理工程の効率化や下処理の工夫、提供温度や盛り付けの改善を図ります。さらに、旧伊達学校給食センターのレシピや調理手順等を中央給食センターに反映して質の維持や向上に努めていき、伊達学校給食センターの良さを段階的に継承するとともに、児童生徒にうれしい給食を提供していきます。また、定期的にアンケートを実施し、児童生徒の声を反映するなど取り組みます。

Q アンケート内容をフイードバックして調理基準に柔軟に反映させる仕組みについてはどのような考えか伺います。

A 現在実施中のアンケートと例年実施しているアンケートの結果を比較し、※喫食の変化を把握します。また、各校の給食担当教諭とセンター献立担当者との間で給食日誌を通じた意見交換を継続します。これらにより、学校現場の声を迅速かつ確実に調理基準へ反映させ、児童生徒が楽しみにする給食づくりを目指します。

※喫食：食事を楽しみながらおいしく食べること。

■飼い主のいない猫対策の運用改善は



島 明美

Q 猫の不妊・去勢手術後に性別が判明した場合の変更手続はどのようなか伺います。

A 捕獲後に雌雄の確

認が難しい場合は、変更申請を提出していただき、承認を受ける手続で対応します。手術後に性別が判明した場合も、変更申請後に実績報告を提出していただき、補助金を交付する流れになります。

Q 補助制度の予算はどのように考えているか伺います。

A 予算額が余ったことだけを理由に予算を減らす考えはありません。登録団体との意見交換や地域の状況を踏まえながら、必要な予算を検討していきます。

■介護人材の確保・定着に向けた支援は

Q 介護人材の実態をどのように把握しているか伺います。

A 市が現在把握していない離職率や求人充足状況などについても、地域の介護サービスを維持していくための参考として、介護施設の負担にならない範囲で調査方法を検討していきます。

Q 介護人材の確保・定着に向けてどのように取り組むか伺います。

A 職場の環境づくりやハラスメント防止などとともに、広報紙やホームページなどを活用し、介護職への理解促進や人材確保・定着に取り組めます。

飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費補助

めす 8,000 円まで

おす 4,000 円まで

手術済みの猫は「さくら耳」

※ 予算がなくなり次第、受付終了となります。

みなさんからの請願・陳情

第4回定例会議（6月）で受理したのは、請願2件、陳情1件でした。

所管の委員会に付託して審査し、委員長が本会議に審査結果を報告、採決の結果、次のとおり決定しました。

受理番号 受理年月日	請 願 件 名	付託委員会	結 果
第2号 令和8年5月21日	地方財政の充実・強化を求める意見書提出の請願について	総務生活常任委員会	採 択
第3号 令和8年5月22日	「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願書	文教福祉常任委員会	採 択
受理番号 受理年月日	陳 情 件 名	付託委員会	結 果
第2号 令和8年5月13日	公立中学校における平和教育及び校外学習の政治的中立性と安全確保を求める陳情	文教福祉常任委員会	不 採 択

第3回招集会議（5月）を開催しました

伊達市議会は、令和3年5月に通年議会制を導入し、毎年5月に招集会議を開催し、翌年4月までの議会が活動できる期間（会期）を決定しています。

今年は5月11日に招集会議を開催し、議長・副議長選挙、各常任委員会等の議会構成（議会構成については、第82号に掲載）が決定され、本定例会の会期を令和9年4月30日までとすることを決定しました。また、市長から、人事1件、その他1件の議案が提案され、所管の常任委員会に付託し（人事議案除く）、審査の後、本会議で採決し、原案のとおり可決しました。議案の主な内容は次の通りです。

○人事

議案第51号 伊達市監査委員の選任につき議会の同意を求めることについて

- ・伊達市監査委員の選任について地方自治法第196条第1項の規定により、議会の同意を求めるもの

○その他

議案第52号 伊達市名誉市民の選定につき議会の同意を求めることについて

- ・伊達市名誉市民の選定に当たり、伊達市名誉市民条例第3条の規定により、議会の同意を求めるもの

全国市議会議長会の

表彰状が贈呈されました

令和8年5月27日に開催された第102回全国市議会議長会定期総会において、地方自治の発展に寄与した功勞により、小野誠滋議員が「議員在職20年以上の特別表彰」、菅野喜明前議長が「議長在職4年以上の一般表彰」として表彰されました。

6月定例会議初日（6月4日）の開会に先立ち、佐藤実議長から表彰状の伝達が行われました。



左から、中村正明副議長、小野誠滋議員、菅野喜明議員、佐藤実議長

新しくなった伊達・靈山総合支所

老朽化への対応として整備が進められていた

伊達総合支所と靈山総合支所の新庁舎が完成し、市民サービスの充実や防災機能の強化が図られました。

伊達総合支所は、受付順番札発券機や個別相談室、授乳室、多目的トイレ（オストメイト対応）などを整備し、利用しやすい窓口環境となっています。また、木のぬくもりを感じられる空間や「伊達ブルー」の外壁が特徴で、駐車場脇には伊達町ライオンズクラブから寄贈された芝

桜が植栽されています。

靈山総合支所は、太陽光発電設備と蓄電池を備え、災害時に活用できる防災拠点としての機能を備えています。光庭による自然採光や分かりやすい窓口表示などにも配慮されており、自動発券機は靈山ライオンズクラブから寄贈されました。

議会では、施設整備の効果が市民サービスの向上や地域防災の充実につながっているか、今後も運営状況を確認してまいります。



伊達総合支所（外観）



伊達総合支所（中の様子）



靈山総合支所（外観）



靈山総合支所（中の様子）

『公表します 政務活動費』

会派及び会派に属さない議員を交付対象とし、議員一人当たり月額3万円を上限に、議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として交付しています。

その収支については、毎年度議長に報告し、残額がある場合は、市に返還しています。

令和7年度の収支状況は次のとおりですが、収支報告書の内容については市議会ホームページにも掲載しています。また収支報告書の写しは議会図書室で閲覧できますので、議会事務局までお問い合わせ下さい。

政務活動費の公表



令和7年度 政務活動費精算一覧表

(単位: 円)

会 派 名	日本共産党 伊達市議団	フォーラム 伊達・公明	春 の 風	伊達市民クラブ (~ R7.9.30)	伊達市民クラブ (R7.10.1 ~)	創 志 会	未来政策 研究会	無 会 派	無 会 派	
会 派 構 成	佐藤 清壽 近藤 眞一	池田 英世 大條 一郎 小嶋 寛己	佐藤 実 中村 正明 河野 裕之 島 明美	小野 誠滋 菊地 邦夫 池田 順子 大槻 孝徳 柳田 武志	小野 誠滋 菊地 邦夫 大槻 孝徳 柳田 武志	安藤 喜昭 佐藤 栄治	半澤 隆 佐藤 眞也 大竹 重範	渡邊 尚人	菅野 喜明	合 計
収入内訳										
交 付 額	720,000	1,080,000	1,440,000	900,000	720,000	720,000	1,080,000	360,000	360,000	7,380,000
利 子	793	0	1,480		1,343	447	525	157	294	5,039
会派の収入合計	720,793	1,080,000	1,441,480		1,621,343	720,447	1,080,525	360,157	360,294	7,385,039
支出内訳										
研 修 費	43,020	277,077	70,520		536,070	228,722	745,619	106,080	168,435	2,175,543
調 査 研 究 費	13,228	0	54,745		129,449	263,186	0	13,230	3,000	476,838
要 請 ・ 陳 情 活 動 費	0	0	0		0	0	0	0	0	0
会 議 費	0	0	0		0	0	0	0	0	0
資 料 作 成 費	0	0	0		0	0	0	0	0	0
資 料 購 入 費	0	2,420	8,203		2,420	0	11,472	0	56,125	80,640
広 報 費	0	0	0		0	0	0	0	0	0
広 聴 費	0	0	0		0	0	0	0	0	0
事 務 諸 費	30,384	38,312	250,176		68,364	46,532	51,714	17,238	62,685	565,405
その他の経費	793	0	1,480		1,343	447	525	157	294	5,039
会派等の支出合計	87,425	317,809	385,124		737,646	538,887	809,330	136,705	290,539	3,303,465
収支差引額 (市への返還額)	633,368	762,191	1,056,356		883,697	181,560	271,195	223,452	69,755	4,081,574

【政務活動費使途基準】

研 修 費	・ 研修会・講演会の開催に要する会場費、講師謝金等の経費 ・ 研修会・講演会の参加に要する会費、旅費等の経費
調 査 研 究 費	・ 先進地調査又は現地調査に要する旅費、調査委託に要する経費
要 請 ・ 陳 情 活 動 費	・ 要請・陳情を行うために要する旅費、印刷製本費等
会 議 費	・ 会派（会派に所属しない議員）が行う会議の開催に要する会場費 ・ 他の団体が開催する意見交換会等会議の参加に要する会費、旅費等の経費
資 料 作 成 費	・ 会派（会派に所属しない議員）が行う活動に必要な資料の作成に要する印刷費、写真代、消耗品等の経費
資 料 購 入 費	・ 会派（会派に所属しない議員）が行う活動に必要な新聞、図書、雑誌等の購入費
広 報 費	・ 調査研究活動・議会活動及び市の施策等の広報活動に要する印刷費、会場費等の経費
広 聴 費	・ 市民からの市政に対する要望・意見を聴取するための会議開催に要する会場費、資料印刷費等の経費
事 務 諸 費	・ パソコン等の事務機器リース・購入、事務消耗品等の購入、通信等に要する事務経費
そ の 他 経 費	・ 上記以外で会派が行う活動に必要な経費

令和7年度の行政視察受入状況

令和7年度に伊達市で対応した他自治体の行政視察は20自治体（計23件の取り組み内容）の受け入れを行いました。視察を受けた取り組み別の対応件数は表のとおりです。

※議会事務局を通じた視察申し込みのみ。

※詳細は伊達市議会ホームページの「行政視察の受け入れ状況」をご覧ください。

取り組み内容	件数
議会改革	2件
通年議会	2件
健幸都市づくり	7件
伊達市版ネウボラ	3件
防災	2件
その他	7件

議会広聴広報常任委員会が 新設されました！

議会広聴広報常任委員会は、議会の広聴機能と広報機能を一体化し、両機能を強化するために、5月1日から新設された委員会です。

当委員会は、総務生活、文教福祉、産業建設常任委員会の3委員会から各2名の委員が選出され、合計6名で活動しています。

今後の取組みとして、広く市民の皆様の声を拝聴し、積極的な情報発信を行うため、次のとおり取組みます。

■広聴活動

- ・議会報告会・意見交換会の企画
- ・右記で出た意見の整理・検討
- ・議会モニター制度の実施 など

■広報活動

- ・議会公式SNSの運用
- ・議会だよりのリニューアル
- ・委員会記録の公開 など



昨年の議会報告会・意見交換会の様子



議会中継のユーチューブへの移行

伊達市議会では、「市民に開かれた議会」の実現に向けた取り組みの一環として、議場での本会議の中継及び録画配信を行っております。

令和8年5月11日に開催されました第3回招集会議からYouTube（ユーチューブ）によるインターネットライブ配信となり、これまでより鮮明な映像での配信へと移行しております。

議会中継の閲覧の方法につきましては、これまでどおり変更ありません。伊達市議会ホームページから「議会中継」を選んでいただき「伊達市議会ライブ中継」に進んでいただくことで、伊達市議会公式YouTubeチャンネルで視聴ができます。

今後も多くの市民の方に議会及び市政に関心を持っていただけるよう多様な情報手段により、さらなる議会広報活動に努めてまいります。



▶ ⏮ ⏭ 1:52 / 4:57



傍聴においでください

9月定例会議は

9月3日(木)から9月25日(金)まで

開催予定です。

【一般質問予定日：9月8日(火)・9日(水)・10日(木)】

※質問者質問項目は確定次第ホームページに掲載いたします。

編集後記

今年もアツい伊達市。5月には35・1℃と早くも猛暑日となり、全国一の暑さとなりました。また、6月には聖光学院野球部が春季東北地区高校野球大会の決勝で逆転サヨナラ勝ちし、4年ぶりの東北地区優勝で胸を熱くさせました。さらに、7月、8月と各地域ではアツい人達が開催する夏祭りが実施されました。合併20周年である伊達市を一緒に盛り上げていきましょう。

さて、任期満了に伴う伊達市議会議員選挙が4月26日執行され、現職18人、元職1人、新人3人の合計22人が選出されました。この改選に伴い、議会広報紙を編集するメンバーが新たになり、5月から新体制でスタートしています。より一層分かりやすく、かつ、親しまれる広報紙の発行に努めてまいります。

また、別ページに掲載のとおり、広聴機能の強化と積極的な情報発信を行うため、単なる協議等の場であった議会広報委員会が「議会広聴広報常任委員会」となりました。委員一同、全力で活動してまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。
(渡邊尚人)

議会広聴広報常任委員会

委員長	近藤 渡邊 尚人
副委員長	河野 藤真 一人
委員	佐藤 明之 一人
委員	菅野 喜明 一人

本紙は読みやすいUD（ユニバーサルデザイン）フォントを使用しています。

創刊号 (2006年2月9日発行) から
第82号 (2026年5月28日発行) まで

伊達市20周年

市議会だより

